

平成28年9月2日

報道関係の皆さまへ

公益社団法人 北海道森と緑の会
理事長 堀 達也

「森の名手・名人」に北海道から1名が選ばれました
～平成28年度「森の名手・名人」の選定結果について～

今年度の「森の名手・名人」には、北海道から次の方が選定されました。

(氏名)	(年齢)	(所在)	(内容)
遠山 サキ	88歳	浦河町	アイヌの手仕事の伝承

(選定のポイント)

遠山さんは木の皮や野草などを利用したアイヌの手仕事・文化を継承し、手仕事の体験指導や講話などにより、森の恵みを日々の暮らしの上手に取り入れ、森と共存してきたアイヌ文化の発信と普及啓発、伝承に尽力してきた功績が評価された。

【森の名手・名人】

森を守り、育て、その恵みを持続的に活かしていく知恵や技を次世代に継承し、人と自然が共存するライフスタイルを提案するため、森に関わるすぐれた技を極め、他の模範になっている達人を「森の名手・名人」として選定するもの。

主催：公益社団法人 国土緑化推進機構

協力：農林水産省、公益社団法人 北海道森と緑の会

- ・「森の名手・名人」には、今後、各地で開催される緑化関係イベント等にも参加いただき、その優れた知恵や技を披露していただく予定です。(今年度は、全国で63名が選定されました)
- ・平成14年にこの制度が発足し、これまでに北海道では37名が「森の名手名人」に認定されています。

※ 名人のところへは、「森の名手・名人」の認定と連動して行われる「聞き書き甲子園」の取組において、高校生が聞き書き取材に訪れます。

【聞き書き甲子園】

主催：農林水産省、文部科学省、環境省、公益社団法人国土緑化推進機構、公益社団法人全国漁港漁場協会、全国内水面漁業協同組合連合会、NPO法人共存の森ネットワーク

内容：今回選ばれた「名手・名人」のところに、「聞き書き甲子園」に参加している高校生達が「聞き書き取材」に訪れ、名人との対話を通して、名人の考え方や人となりを「聞き書き」としてレポートにまとめます。

作品は、3月に東京で開催されるフォーラムで発表するとともに、冊子、インターネットで公表します。

担当：北海道森と緑の会 畠田康之

TEL：011-261-9022

FAX：011-261-9032